

令和6年度第1回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 令和6年6月27日（木）13：30～14：50

場 所 事務局第一会議室及びMicrosoft Teams 併用

出席者 [会議室] 坂井学長、石井理事、野中理事、木崎理事、中村理事、市川理事、
平本委員、真下委員、山口委員、山名委員

[Teams] 利根委員

欠席者 萩原委員、堀光委員、吉田委員

陪席者 [会議室] 山中監事、齋藤監事、長澤副学長

[Teams] 市橋副学長、田代副学長、川合副学長、福島副学長、伊藤副学長、
水村人文社会科学研究科長、宮田教養学部長、井原経済学部長、
戸部教育学部長、重原理工学研究科長、若狭理学部長、奥井工学部長

- 学長から、萩原委員、堀光委員及び吉田委員が本会議を欠席する旨報告があった。
- 令和5年度第5回議事要録の確認について（資料1）
令和5年度第5回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録（案）の確認が行われ、承認された。

※各事項における意見等は次のとおり（☆学外委員、△学内委員等）

○ 審議事項

1 学長選考・監察会議委員の選出について

学長から、資料2に基づき、学長選考・監察会議の概要及び委員の選出について説明があり、審議の結果、学長選考・監察会議委員として、利根委員、萩原委員、平本委員、真下委員及び山名委員を選出すること、また、当該委員が学長候補者として推薦された場合の委員の交替順位を、一位吉田委員、二位堀光委員、三位山口委員とすることが承認された。

2 令和5事業年度決算について

木崎理事から、資料3に基づき、令和5事業年度決算の概要について説明があり、審議の結果、承認された。

3 令和7年度概算要求について

木崎理事から、資料4に基づき、令和7年度概算要求における教育研究組織改革分及び共通政策課題分の概要について説明があり、審議の結果、承認された。

○ 報告事項

1 外部資金の受入状況について

石井理事から、資料5に基づき、令和5年度における受託研究費、共同研究費及び奨学寄附金の受入状況及び令和6年度科学研究費助成事業の採択状況について説明があった。

☆ 今後は情報系の分野に特に力を入れていかなければならないところ、情報メディア基盤センターにおける外部資金の受入状況が芳しくないのではないかな。

△ それは当該センターを担当している教員数が多くないためで、理工学研究科を担当している教員の中に情報関係の研究を行っている教員が含まれている。

2 令和5事業年度長期借入金償還状況について

木崎理事から、資料6に基づき、令和5事業年度における長期借入金償還状況について説明があった。

3 教職大学院認証評価評価結果について

長澤副学長から、資料7に基づき、令和5年度に受審した教員養成評価機構による教職大学院認証評価において、教職大学院評価基準に適合していると認定された旨報告があった。

4 中期目標・中期計画の変更申請結果について

長澤副学長から、資料8に基づき、令和5年度に申請した第4期中期目標・中期計画の変更について、申請のとおり文部科学大臣から認可された旨報告があった。

○ その他

1 国立大学協会声明について

学長から、資料9に基づき、一般社団法人国立大学協会理事会から令和6年6月7日付けで発出された声明について説明があった。

☆ 少子化が著しい昨今にあつて、国立大学も私立大学も苦しい状況にある中、学問の水準を高めていくためには、国立大学協会自体が意見を主張していくことが必要であり、より思い切った声明を発表していくべきだと思う。

△ 今後さらに少子化が進んでいくことには危機感を抱いており、その中でも選ばれる大学となるため、教育や学生支援等について、さらなる機能強化を行っていかねばならない。そのためには、運営費交付金を増額させるための努力をするほか、授業料の値上げも検討しなければならないと考えている。

☆ 現在、物価上昇等の影響により経済的に余裕がない家庭が増えており、学費の値上げに対して不安を抱えている学生への対応策も併せて検討いただきたい。

△ 授業料の値上げについては、まだその可否を検討している段階ではあるが、もし値上げを行うということになれば、生活困窮世帯・学生に対する奨学金の 創設も当然並行して進めていくことになる。教育と学生支援を手厚くしていくためにも、大学の収入増加の方策を継続的に検討していく必要があると認識している。

2 次回日程（令和6年9月12日（木））

学長から、次回日程の開催時刻については、改めて各委員のご都合を伺いたい旨の連絡があった。

以上